

# 米国穀物市況

2010/2/9 8:00  
岡藤商事株式会社

	シカゴ市場						東京市場		
	限月	始値	高値	安値	終値	前日比	換算値	前日終値	換算値比
大豆	3月	919.75	939.75	913.00	929.50	16.00	38,450 (先限)	38,290	160
	5月	930.00	949.50	929.50	940.00	15.75			
大豆ミール	3月	272.8	276.0	272.7	274.4	3.4			
	5月	266.3	269.8	266.1	268.1	3.1			
トウモロコシ	3月	354.00	362.00	347.25	356.00	4.50	19,910 (先限)	19,910	0
	5月	365.25	373.25	365.25	367.50	4.50			

ドル円	現在値	東京終値
	89.28	89.40

## 【シカゴ大豆・大豆ミール】

8日のシカゴ大豆は反発した。米国農務省の需給報告の発表を前に、ファンドを中心にポジション整理の買いが集まった。3月限は夜間取引から買いが先行した。

通常取引開始後には急速に騰勢を強め、940セントに迫る水準まで一気に値を伸ばした。しかし、それ以上積極的な買いは見られず、相場は伸び悩んだ。中盤以降は売りに押される格好となったが、930セントを割り込んだ辺りでは買い意欲も強く、しっかりと下げ止まった。

需給報告を明日に控え、期末在庫の引き下げが予想されることがサポート要因となる一方、南米の豊作観測や中国の成約キャンセル懸念が圧迫要因となった。

寄付後に農務省が発表した2月4日までの大豆週間輸出検証高は3,956万8,000ブッシェルだった。

本日のファンドの手口は、推定5,000枚の買い越し。本日引け後のファンドの建玉は、推定2万9,000枚の買い越しに拡大した。

## 【シカゴトウモロコシ】

8日のシカゴトウモロコシは反発した。ここまでの大幅安の反動もあり、ファンドを中心にテクニカルな買いが集まった。3月限は夜間取引から買いが先行し、通常取引開始時には一気に360セントを回復するまで値を伸ばした。

しかし、それ以上積極的な動きは見られず、相場は伸び悩んだ。中盤には大きく売りに押される展開となったものの、最後までプラス圏は維持したまま取引を終了した。

寄付後、米農務省が発表した2月4日までのトウモロコシ週間輸出検証高は2,710万2,000ブッシェルだった。

本日のファンドの手口は、推定8,000枚の買い越し。本日引け後のファンドの建玉は、11万9,000枚の買い越しに拡大した。

## 〔商品先物取引に係る留意点について〕

2010年2月1日現在

商品取引員 日本商品先物取引協会会員

**岡藤商事株式会社**

### ・取引証拠金について

商品先物取引は委託に際して取引証拠金等の預託が必要になります。最初に預託する取引本証拠金の額は商品により異なり、2010年2月1日現在、最低取引単位（1枚）当り最高165,000円、最低18,000円です。ただし、その後の相場の変動によって追加の預託が必要になることがありますので、注意が必要です。またその額は、商品や相場の変動によって異なり、一様ではありません。

### ・手数料について

商品先物取引の委託には委託手数料がかかります。その額は商品によって異なり、2010年2月1日現在、最低取引単位（1枚）当り最高9,135円、最低714円です（片道・消費税込・先限ベース）。

※ 取引証拠金・手数料については、銘柄・約定値段等によって変わりますので、この書類の作成日以降の額はその都度担当者へご確認ください。

### ・商品先物取引のレバレッジについて

商品先物取引による取引の額は、最初に預託する取引本証拠金の額に比べて著しく大きい額となります。具体的には、商品によっても異なりますが、2010年2月1日現在、取引本証拠金の額の約13倍から約31倍の額にもなります（先限ベース）。

### ・商品先物取引のリスクについて

商品先物取引は相場の変動によって損失が生ずるおそれがあります。また、取引本証拠金の額に比べて何十倍もの金額の取引を行うため、その損失額は預託している取引証拠金等の額を上回ることがありえます。

#### ◆ お取引に関するご相談は

① 当社お客様相談窓口：東京都中央区新川 2-12-16 TEL 03-3552-1203

② 日本商品先物取引協会相談センター本部：東京都中央区日本橋小網町 9 番 4 号

TEL 03-3664-6243

◆ 当社企業情報に関するディスクロージャー資料は当社の本・支店、日本商品先物取引協会の本部・支部および HP で閲覧できます。